

会 議 報 告 書

先に開催しました令和2年度第2回当別町文化財調査審議会の内容について、下記のとおり報告いたします。

- 1 日 時 令和3年2月22日（月） 11：30～12：15
- 2 場 所 当別町役場 第二庁舎
- 3 出 席 者 鎌田会長、梅枝副会長、倉田委員、渡部委員、大口委員
本庄教育長
社会教育課：石川課長、下村係長、飯田主事
- 4 内 容
 - 1 開会
 - 2 教育長挨拶
 - 3 会長挨拶
 - 4 報告事項
 - (1) 令和2年度伊達記念館・伊達邸別館観覧実績の報告について
 - (2) 令和2年度各種事業の報告について
 - 5 協議事項
 - (1) 当別町文化財指定の検討について
 - 6 その他
 - 7 閉会

発言者	発言内容
渡部委員	弁華別小学校は、閉校になって3年くらいたったか。
下村係長	2016年3月閉校なので、5年経過している。
大口委員	<p>当別に古き良き建物は残っていない。歴史がある当別と謳うなら、何かの形で残していってもらいたい。新しいものがどんどん建っていくのは悪いことではないが、経済的なもののために歴史あるものを失っていくのは残念。</p> <p>失われるのを仕方ないと見ているだけではなく、クラウドファンディングなど、残すための努力したい。弁華別小学校は北海道の中でも貴重な建物と考える。</p> <p>文化財に指定されているものは他にどのようなものがあったか。</p>
下村係長	伊達家由来のものが多い。一覧表がある。
大口委員	セイウチ科骨格化石は今北大にあるが、町内に展示できる環境があったらいいと思う。レプリカでもよい。
渡部委員	これはそんなに大きなものではないのか。
大口委員	1mくらいあったかと思う。
渡部委員	1万年前のものがここから出土したというのはわくわくすることだと思う。
倉田委員	<p>吾妻家文書、セイウチについて、見ずに指定するというのは話にならない。吾妻家文書は、金銭的な問題もあり、理想は指定と同時に保管環境が整った施設があることだが、現状きちんとした場所で管理するのは不可能。担当者が数年で代わってしまうことも踏まえ、指定する際に保管環境を整えることを明記し、引継ぎをすべき。どのような環境で保管されているのか委員の皆様に見ていただきたい。</p> <p>4月から一般公開をするが、図書館の中で公開することとなる。見るときに鞆を横においていいのかなど、見せ方をしっかりと考えておかないと、文化財の紛失などが起こりうる。</p>
大口委員	今のままだと保管するには問題があると思う。当別小学校の使い方が決まっていなければ、そこに一括で展示してはどうか。図書館ではやはり狭い。ばらばらになっている郷土、文化財の資料を当別小学校にまとめて、小学生や町民が見られるようにできないか。管理者を置くか、むずかしければ、ボランティアを募る。
鎌田会長	近隣では北広島市が使われなくなった小学校を博物館に作り替えて、展示などの拠点にしている。
大口委員	近い将来に実現できるよう計画して進めてほしい。
梅枝副会長	<p>保管場所の整備、これからのスタンスなど、前回の審議会でも話がでていたことかと思うが、事務局はどういった部分で進歩はあったのか。</p> <p>また、諮問された場合は答申しなければならない。</p>
下村係長	今は諮問の前の議論段階である。
梅枝副会長	<p>了解した。</p> <p>前段の色々な準備に時間がかかるので、年に1回の審議では到底無理だと思う。予算関係も考えていただきたい。また、指定しようとしているものを委員が見て</p>

	把握することも大事かと思う。
梅枝副会長	弁華別小学校はどのように維持管理しているのか。そういったことも教えてくれないと検討しようがない。劣化もするだろうし、いろいろと出てくると思うが、どう管理しているのか。
下村係長	現状はゆうゆうに委託して管理してもらっているが、維持管理費はつけていない。
大口委員	煙突なども、壊れたら壊れたまま使っている。
梅枝副会長	<p>そういったものも見学して、検討材料に値するのか判断し、指定ということになると費用対効果がどうなるのかも考えなければならない。当然税金が投入される。</p> <p>弁華別小学校の指定は、道から求められているのではなく、こちらからの働きかけであるのだから、なおさら吟味すべき。莫大な費用がかかるなら難色もあるだろう。煮詰めて数回の審議が必要と思う。</p>
鎌田会長	伊達山遺跡出土品が、他には無い固有である部分としては、当時高校生が発掘したということ。その証拠として、出土品の表面がザラザラしておりクリーニングされていない点。研究者が発掘をした場合、クリーニングをして綺麗になっているのが通例。そこに魅力はある。
鎌田会長	<p>それでは、今後の方向性についてまとめさせていただく。</p> <p>1 吾妻家文書は、「文化財指定する方向で検討する」</p> <p>2 セイウチ科骨格化石は、指定後も引き続き寄託することについて北海道大学博物館との協議を進めた上で、「文化財指定する方向で検討する」</p> <p>3 青い目の人形は、「現況においては文化財指定しない」</p> <p>4 伊達山遺跡出土品については、「現況においては文化財指定しない」</p> <p>また、弁華別小学校校舎は、「引き続き検討する」</p> <p>以上のような方向性で、まとめてよろしいか。</p>
梅枝副会長 倉田委員 渡部委員 大口委員	異議なし。